

勉強会・意見交換会概要

日時	場所	対象地区	参加人員
5月14日(土) 14:00~16:00	保健福祉センター 団体活動室	市民対象	18名
6月5日(日) 10:00~12:00	富士センター 大集会室	第三小学校区	12名
6月5日(日) 15:00~17:00	複合センター レクホール	大山口小学校区	14名
		清水口小学校区	
		七次台小学校区	
6月11日(土) 10:00~12:00	駅前センター レクホール	南山小学校区	7名
		池の上小学校区	
6月11日(土) 15:00~17:00	公民センター レクホール	第二小学校区	13名
6月12日(日) 10:00~12:00	桜台センター レクホール	桜台小学校区	13名
6月12日(日) 15:00~17:00	コミュニティセンター レクホール	第一小学校区	6名

〈内容〉

・勉強会

- 1 趣旨説明
- 2 職員より「地域福祉計画とは？市の現状」について説明。
- 3 ワークショップ
「テーマ：『福祉』のイメージを広げよう。地域の取り組みのきっかけをつくろう。」
- 4 グループ討議・発表

・意見交換会

- 1 趣旨説明
- 2 職員より「地域福祉計画とは？市の現状」について説明。
- 3 ワークショップ
「テーマ：
福祉に関連する地区の課題を共有しよう！地域で支え合う取組のアイデアを出し合おう！」
- 4 グループ討議・発表

勉強会、意見交換会での意見のまとめ

地域の望ましい将来像

望ましい将来像	地区名
下町のつながり	第三小学校区
役所の職員も地域の行事に参加する	第三小学校区
お互いの顔(心)が見える街	大山口小学校区
ほほえみあふれるし・ろ・い	七次台小学校区
気がるにあいさつができる笑顔の清水口	清水口小学校区
高齢者と子供で支えあう地域	南山小学校区
顔がみえて笑顔になれるまち	南山小学校区
自然がお金を生み出す地域	第二小学校区
地域で完結するまちづくり(Uターン/ちいさなまちづくり)	第二小学校区
Uターンしやすいまち、お祭りなどの地域の伝統を守りながら若い人が増えていくまち	第二小学校区
今のつながりを大切に	桜台小学校区
三世代が交流できるにぎやかな地域	桜台小学校区
多様性に富んだ魅力ある地域	桜台小学校区
ありのままが受け入れられるまち	第一小学校区
誰もがあいさつのできるまち	第一小学校区

勉強会・意見交換会からの主要な地域の困り事とその対応策

地域の主な困り事	協力・連携のアイデア（解決策）
●地域での人と人との関係の希薄化	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつをする ●おせっかいに世話を焼く ●飲みにケーションによる関係性の構築 ●地域イベントなどを通じたつながりの醸成
●地域コミュニティの活力低下	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での活動場所づくり ●地域の伝統や資源を活かした集いのきっかけづくり ●高齢による役職免除などのしくみづくり
●地域での福祉の担い手不足（特に若い世代）	<ul style="list-style-type: none"> ●市民大学卒業生などの活用 ●若い人向けのサロンや市民大学のプログラムづくり ●有償ボランティアのしくみづくり ●活動への表彰制度の導入 ●幼少期からの福祉教育の推進 ●体験の機会づくり
●地域でのケア体制の構築が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に関連する様々な組織が集まった会議の開催 ●福祉に関わる様々な主体の連携強化 ●自治会と民生委員等との連携強化 ●自治会と行政等との連携強化
●地域で気軽に集まれる場の不足	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンづくり ●多様な世代、障害の有無にかかわらず様々な人が集える場の形成 ●定年後の男性が集まれる場の形成
●地域での相談場所の不足	<ul style="list-style-type: none"> ●おせっかいに困り事を聞く ●相談を必要な支援へつなげる。相談にのる ●地区社協の拠点を活用した話す場の提供 ●サロンの困り事相談の場、つなげる場としての機能強化
●世代間での交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ●オープンな交流の場づくり ●子育てサロンや高齢者サロンなどの融合 ●教員OB等を活用した寺子屋などの開設
●買い物支援などの高齢者を支えるしくみの不足	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での主体的な買い物支援、ゴミだしなどのサポートの実施 ●スーパーなどの宅配サービスの活用 ●生協などの宅配サービスの注文書作成に対する支援
●交通弱者の移動手手段の不足	<ul style="list-style-type: none"> ●地域内循環バスなどによる高齢者等の足の確保 ●自家用車などでの乗り合いの実施
●福祉を支える役職やサービス等に対する理解の不足	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログでの情報を大切にす ●スーパー等への掲示による情報の周知 ●スマホの活用方法のわかりやすい指導
●福祉に対する認識の違い	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉のイメージを変える言葉を作る。 ●新しい福祉のイメージを作る。 ●福祉→愛



【1人でできること】

- 見守り／●近所の声かけ／●あいさつ
- ごみ出し／●ごみの分別
- ゴミステーションのそうじ、ゴミ拾い
- 自治会に加入
- いろいろな会への参加
- パトロールに参加／●登下校に合せ散歩
- 散歩のときに意識して地域をよく見る
- あれっ？と思うことを通報する(いつも顔を見るおばあちゃんがいなくて)とか・・・
- お花に行く
- 安否確認(独り暮らし高齢者世帯)
- 子守り
- 趣味のあう人を誘う
- 地域のラジオ体操に誘う
- 買物の手伝い／●車に乗り合いで買物に行く
- 買物に不便を感じている人への支援(移動や生協の用紙記入)
- 相談を必要な支援へつなげる。相談にのる。介護や子育ての疲れをとる。リフレッシュする時間をつくる⇒話し相手
- 一日 1,000 歩未満の人は住民税を倍額にする
- 健康づくりのための PPK(びんぴんころり)運動

【3人でできること】

- 子どもの居場所づくり、放課後の遊び場確保
- みどりのおじさん、おばさん
- 地域でパトロール
- 障害者の健康づくり、居場所づくり
- 週末とか本人主体で参加できるサロン 高齢者対象のサロンにジョイントしたい！

【10人でできること】

- 防災のためにも駐車違反を取り締まり
- 安心安全は地震では男の人が
- 安心して生活できる為の環境作り
- 町内の道路がきれいだと防犯によい
- 新しい交通法の厳しさでは年配者の運転は少なくなる。
- 資源物の回収をする(資金を作る)

<サロン>

- サロンを作る
- 住民の融合の為のサロン開催
- サロン参加者の為のインセンティブプランが重要
- 飲む会、賭け事も、集会所、公民館でもOKにしよう
- 定年後に男の人が家の外の集いに行けるようになるには
- 定年後の男性に時間の使い方を考える何かの集まり

【30人でできること・みんなのできること】

- 新しい隣人が町内に入って来たときには歓迎会を
- 町内会(自治会)単位の地域の連帯感を育む
- 地域包括ケアの拡充への協力
- 小学校区で夏祭をする／●防災訓練
- 夏まつりとか一年に一回地域住民がひとつのことに取り組める行事
- 近所の人と顔見知りになる／●お茶仲間を作る
- 住民の無関心を打破する
- 住民の意識改革が必要
- 助け合いの為のモチベーションを高める為の啓発運動

※下線はおすすめの見取り



【1人でできること】

- (一人で)要介護になられた方の定期訪問している(マンツーマン)⇒地域の何でも屋
- 個人での個人に対する訪問、買物等のボランティア
- おせっかいのススメ
- 高齢者には笑顔で“お元気ですか”と声をかける

【3人でできること】

- 無償のボランティアでいいのか
- 無料でなくて良い(ボラ活動)3~5人で有償(少ないお金)グループを作る
- 有償ボランティア(気を遣わせない工夫)

【10人でできること】

- いろいろなつながりでの飲みにケーション(生きがいづくり)
- 趣味・サークル・活性化

【30人でできること】

- 出会い系サロン開設
- ラジオ体操のグループ実行

【みんなでできること】

- 募金活動に参加
- 夢の語り場づくり
- 活動を表彰してあげる
- 社会福祉大会に参加する
- シルバー人材の活用(業者とはちがう)
- 高齢者クラブの会員増強(60代の若い人)
- 地域サロンに関わる人、少しずつたくさんの人を増やす
- 福祉活動をしている団体(個人)に話を聞く
- 市内の公園毎にラジオ体操会を通年開く

●子どもの声かけ、自分の敷地内

- 買物ツアー 希望者少なかった
- 年齢問わないサロン開催 集会所にてポスターで周知
- 月1回世話役4~5任意
- 自治会と提携する
- 自治会で地域の人(高齢者)の要望のコーディネータ(窓口)となる
- 自治会ごとの対抗試合(グラウンドゴルフ・カラオケ大会)

【メンバーのつづやき】

- 好きで始めて止められなくなって・・・
- 高齢者の足の問題 交通手段
- やりたい人がやる
- 個人的な支援には保険などの問題がある
- 利用しない人→サポートにまわってほしい
- サロンの世話役 やってもらうだけではなく
- 見守りネットワーク 自治会と一緒にする
- 制度を知っていて使っている人
- 制度を知らない人
- 地域で何かする時にあなた誰? 顔見知り
- 知らない人だらけだと緊張する

※下線はおすすめの取組み



【1人でできること】

- 飲み仲間をつくる
- 相談できる人をつくる
- 自分の家で暮らすことの大切さと大変さ
- 叱ってくれる近所の大人!!
- 子どもに注意する(しかる)
- あいさつ／●ゴミ拾い／●声かけ／●見守り
- 留守番／●清掃⇒あいさつ
- 地域デビューの手助け
- 高齢者と出かける

【3人でできること】

- 地元新聞発行**
- 買物の手伝い
- おしゃべり
- ニーズの吸い上げ
- 料理をならう!

【10人でできること】

- 若い人向けサロン!!**
- さみしい想いをする人を減らせたらいいな
- 地域福祉って何かを考える人を増やそう
- 障害者の就職先を探す
- おしゃべり会(サロン)
- おしゃべり
- 防犯パトロール
- 災害時の助け合い
- 公園でのゲーム(囲碁...)
- 買物支援
- スポーツ
- 飲み会
- 子どもの預かり／●地域の子ども会
- 老若男女できるイベントをやる!!

【30人でできること】

- 昔ばなしを聞く 大人→子ども
- 児童と一緒に遊ぶ!!／●食事会
- 地域の防災を考える

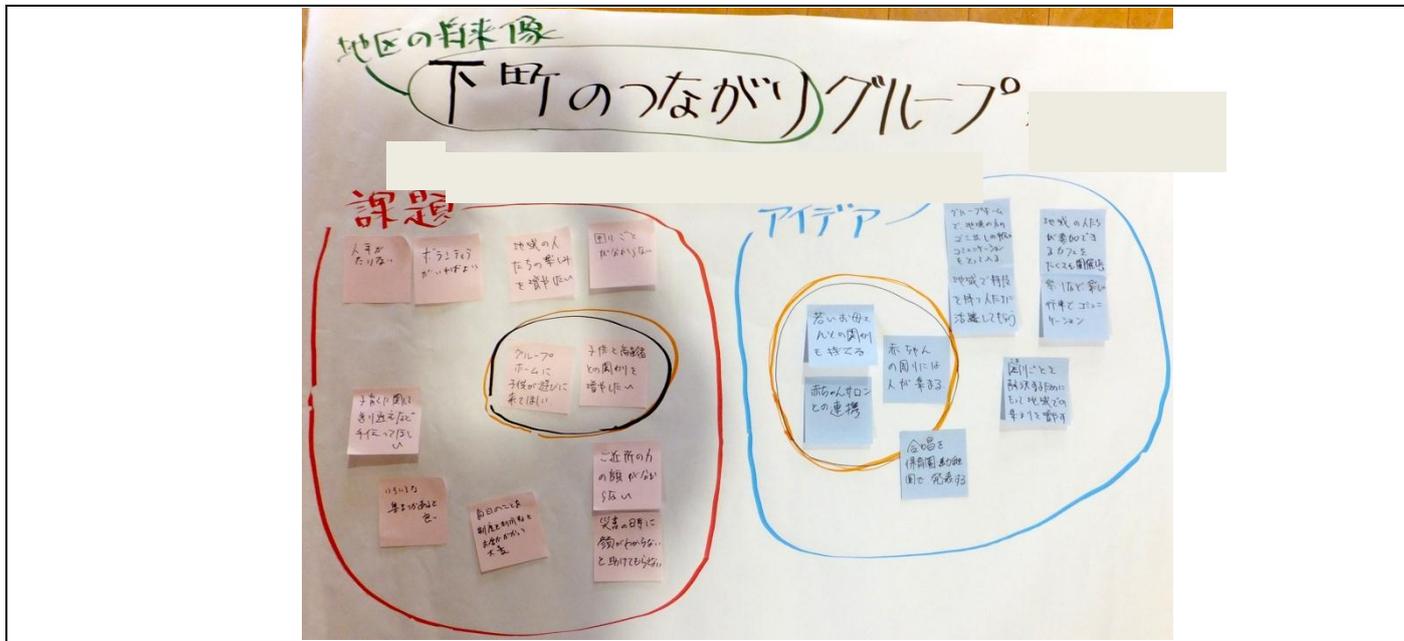
【みんなでできること】

- 好きなことがいつまでも続けられる環境づくり
- 交通安全
- 市行政職員の地域への参加
- 自治会の強化
- PTA郊外部と自治会の交流
- 人づきあいを大切に

※もっと白井にいたいと思える場所をつくって欲しい!!

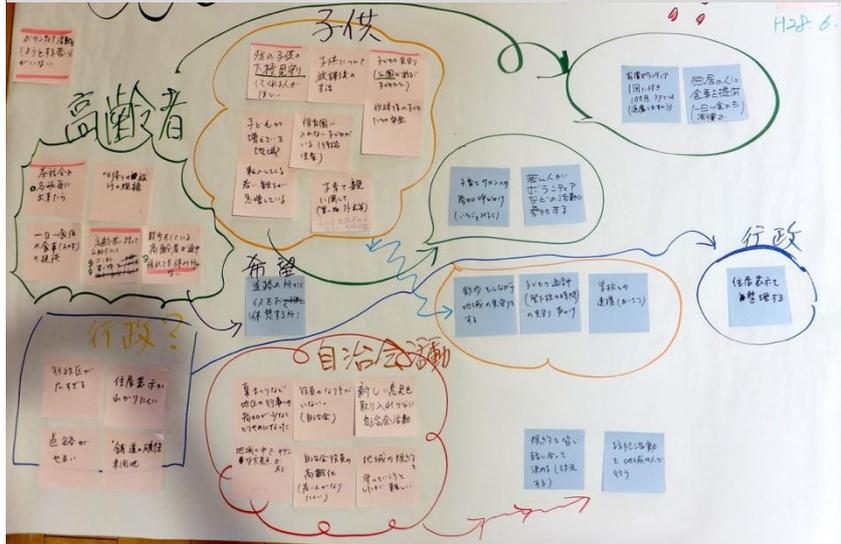
定年後のお父さんの居場所を!

※下線はおすすめの取組み



地区の望ましい将来の姿	下町のつながり
<p><地区の課題(困っていることなど)></p> <p>※ピンクの付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人手が足りない ●ボランティアがいればよい ●地域の人たちの楽しみを増やしたい ●困りごとが分からない ●グループホームに子供が遊びに来てほしい ●子供と高齢者との関わりを増やしたい ●子育てに関して送り迎えなど手伝ってほしい ●いろいろな集まりがあると良い ●毎日のことを制度を利用するとお金がかかって大変 ●ご近所の方の顔が分からない ●災害の時に顔がわからないと助けてもらえない 	<p><協力・連携のアイデア(解決策)></p> <p>※青の付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎若いお母さんとの関わりも持てる ◎赤ちゃんの周りには人が集まる ◎赤ちゃんサロンとの連携 ◎合唱を保育園、幼稚園で発表する ◎グループホームで地域の方のゴミ出しの手伝い、コミュニケーションをとって入る ◎地域で特技を持った人たちに活躍してもらう ◎地域の人たちが参加できるカフェをたくさん開催したい ◎祭りなど楽しい行事でコミュニケーション ◎困りごとを解決するために、もっと地域での集まりを増やす

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋

●ボランティア活動をしようとする若い人がいない

【高齢者】

●茶話会を各班毎に出来たら

●日帰りの旅行企画

●一日一食位の食事(おかず)の提供

●高齢者に対してお助けとして、ゴミ出し、買い物

●散歩をしている高齢者が途中疲れても休み所がない

【子供】

●夕方の子供の下校見守りしてくれる人がほしい

●子供について、放課後の生活

●子供の見守り(公園で遊ぶ子供たち)

●子どもが増えている地域

●転入してくる若い親が急増している

●子育て親に関して(買い物、外出等)

【行政?】

●行政区が広すぎる

●住居表示がわかりにくい

●道路がせまい

●舗道の確保、未開地

【自治会活動】

●夏まつりなど地区の行事への参加が少なく取りやめになった

●役員のなり手がいない(自治会)

●新しい意見を取り入れづらい自治会活動

●地域の中でキケンな交差点がある

●自治会役員の高齢化(若い人がなりにくい)

●地域の規約を守っていきこうとしたが、難しい

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋

【高齢者】

◎道路の所にイスをおく(休憩する所)

◎有償ボランティア1回につき100円、タダでは(遠慮しますから)

◎独居の人に食事を提供(一日一食でも有償で)

【子供】

◎子育てサロンへの参加呼びかけ(いちごとみるく)

◎若い人がボランティアなどの活動に参加する

◎散歩をしながら地域の見守りをする

◎子どもの通学中(登下校の時間)の見守り、声かけ

◎学校との連携(あいさつ)

【行政?】

◎住居表示を整理する

【自治会活動】

◎規約を皆で話し合っ決めて(改定する)

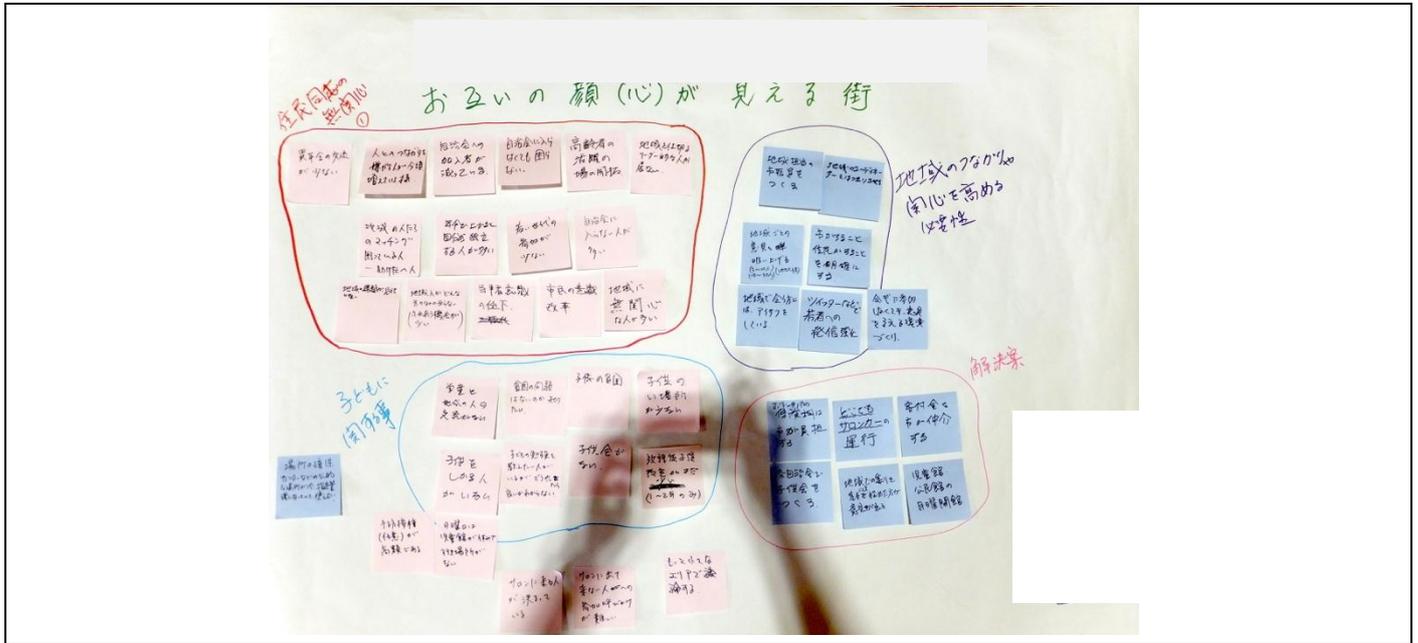
◎防犯活動を地域の人で行う

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



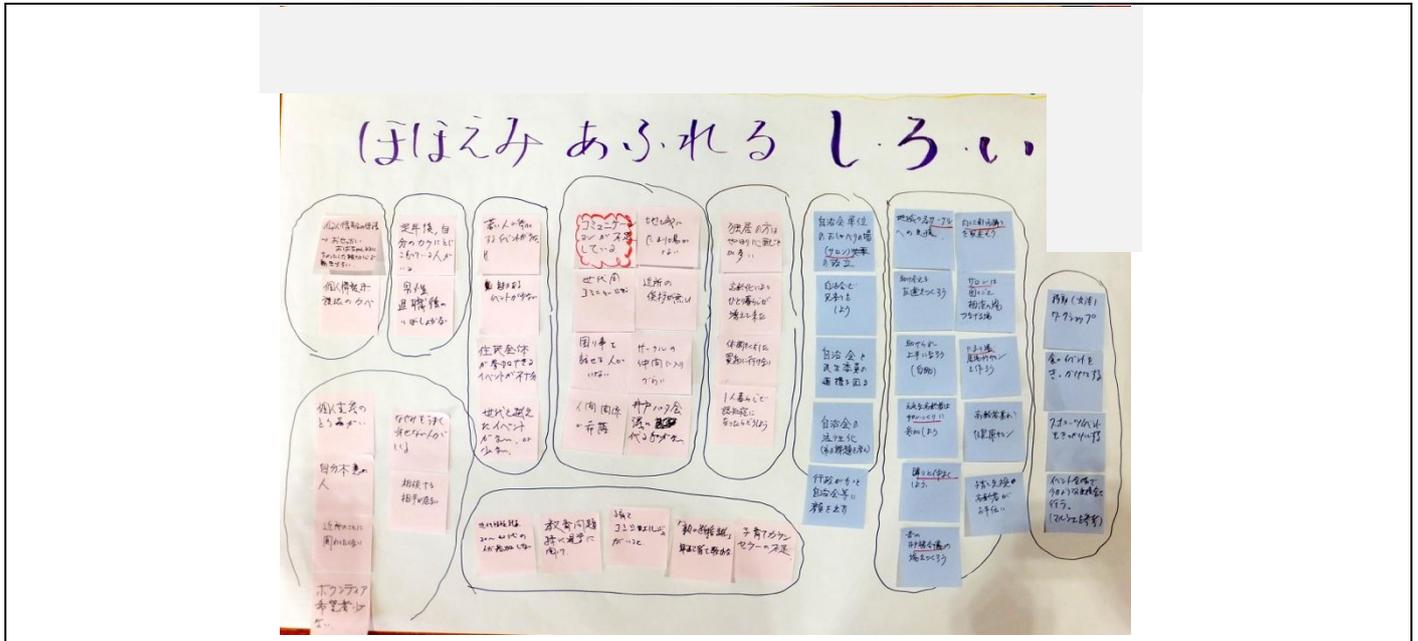
地区の望ましい将来の姿	役所の職員も地域の行事に参加する
<p><地区の課題(困っていることなど)></p> <p>※ピンクの付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●<u>隣同士の交流がない</u> ●<u>リーダーシップをとる人が少ない、いない</u> ●<u>自治会長の任期が短い。すぐが変わるとリーダーシップとれない</u> ●<u>自治会の活動自体衰退していく</u> ●<u>空家が多くなった、第3小学区全体</u> ●<u>小学校区内のネットワーク構築、コーディネーターの配置</u> ●一人暮らしの「認知症」患者への対応方法 ●認知症、民生委員と地域包括センターとの連携 ●個人情報保護で子どもの名前などわからず、助けたくても助けられない ●街灯が少ない、死角は暗い ●不登校(中学生) ●社協にかたよりすぎ、地域でのそれぞれのリーダー(委員)をつくると、課題にとりくめる ●ナンバー号少ない、免許返したら足がなくなる、外に出れない ●高齢化、役員やる人、イベントに来ない、災害時に対応できない 	<p><協力・連携のアイデア(解決策)></p> <p>※青の付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎<u>民生、消防、事業主、様々な人が入った会議の開催</u> ◎<u>市民大学で若い人たちを社協でPR</u> →<u>地元でも活やくしてもらうように促す</u> (今年度 H29.2 やりたいです、チラシ作ります) ◎自治会と別に防災などの組織をつくる ◎班の中で見守り、ごみ出し →<u>お金たまったらお茶会、寄付などまとまってやる機会</u> ◎こいのぼり祭りのようなものを続けていく ◎祭りなどで集まってきた人をうまく巻き込む ◎<u>グラウンドゴルフ、自治会をこえたつながり。それを広げていく</u> ◎自主的なグラウンドゴルフ大会も楽しそう。健康にも良い ◎年に1回はこんしん会で交流を深める ◎若い自治会長さんを巻き込んでいく ◎<u>定年後やることを探している人をうまく巻き込む</u>

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿	お互いの顔(心)が見える街
<p><地区の課題(困っていることなど)> ※ピンクの付箋 【住民同士の無関心】 ●異年齢の交流が少ない ●人とのつながりを嫌がる人が今頃増えている様 ●自治会への加入者が減っている ●自治会に入らなくても困らない ●高齢者の活やくの場の開拓 ●地域を仕切るリーダー的な人が居ない ●地域の人たちのマッチング、困っている人-助けたい人 ●年齢が上がると自分が孤立する人が多い ●若い世代の参加が少ない ●自治会に入らない人が多い ●地域の課題が見えていない ●地域人がどんな方々なのか分からない(ふれあう機会が少ない) ●当事者意識の低下 ●市民の意識改革 ●地域に無関心な人が多い 【子どもに関する事】 ●学童と地域の人との交流がない ●貧困の問題はないのか知りたい ●子供の貧困 ●子供の居場所が少ない ●子供をしかる人がいない ●子どもの勉強を教えたい人がいるが、どうやったら良いかわからない ●子供会がない ●放課後子ども教室がまだ少ない(年1~2のみ) ●予防接種(任意)が高額である ●月曜日は児童館が休みで行き場所がない 【その他】 ●サロンに来る人が決まっている ●サロンに出て来ない人への参加呼びかけが難しい ●もっと小さなエリアで議論する</p>	<p><協力・連携のアイデア(解決策)> ※青の付箋 【地域をつなぐや関心を高める必要性】 ◎地域担当の市職員をつくる ◎地域コーディネーターをはっきりさせる ◎地域ごとの意見を吸い上げる(5~10人)(10~30人)(100人位) ◎市がすること住民がすることを明確にする ◎地域で会う方にはアイサツをしている ◎ツイッターなどで若者への発信強化 ◎会議に参加しなくても、意見を言える環境づくり 【その他】 ◎場所の確保、センターなどの公的な場所が今、指定管理になっていて使えない 【解決案】 ◎ボランティアの保険料は市が負担する ◎どこでもサロンカーの運行 ◎寄付金を市が仲介する ◎各自治会で子供会をつくる ◎地域での集まりを基本にして始めた方が意見が出る ◎児童館公民館の月曜会館</p>

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿 | ほほえみあふれるし・ろ・い

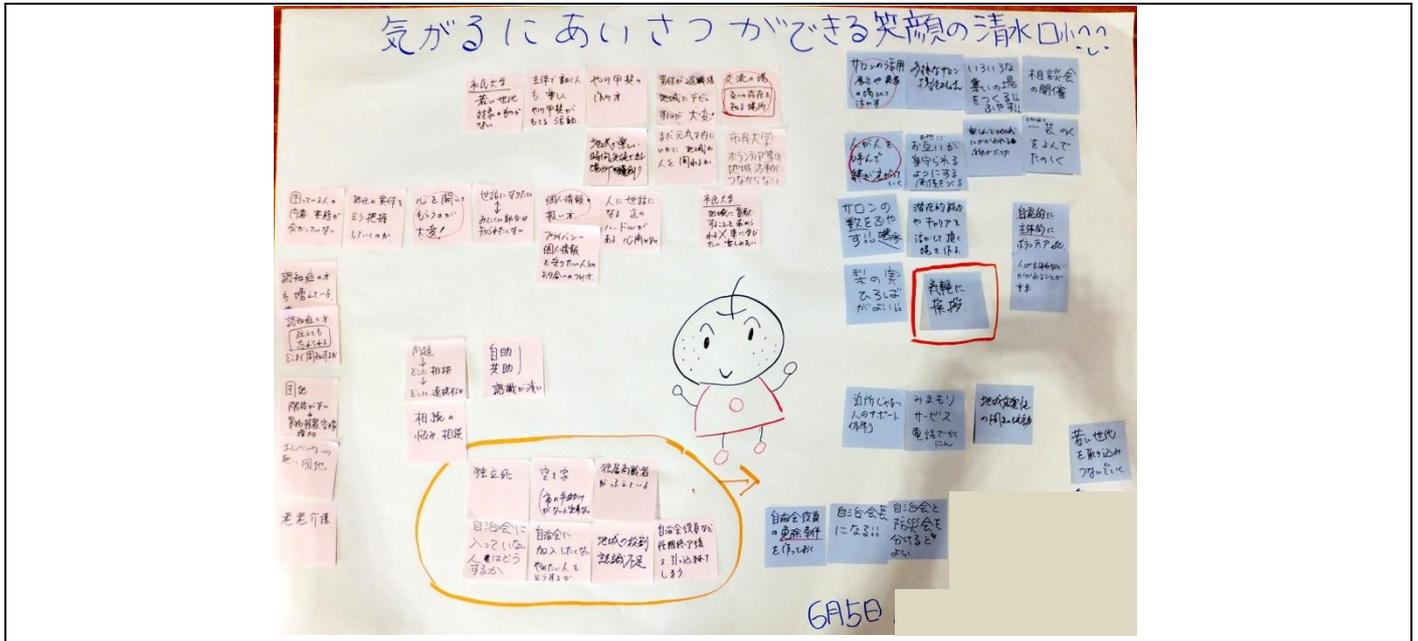
<地区の課題(困っていることなど)>

- ※ピンクの付箋
- 個人情報保護→おせっかい、おばちゃん的にちょっとした親切心で動きづらい
- 個人情報保護法のカベ
- 定年後自分のカラにとじこもっている人がいる
- 男性退職後の居場所がない
- 若い人の参加するイベントが少ない
- 魅力的なイベントが少ない
- 住民全体で参加できるイベントが不十分
- 世代を超えたイベントがない or 少ない
- コミュニケーションが不足している
- 地域にたまり場がない
- 世代間コミュニケーション
- 近所の挨拶がない
- 困り事を話せる人がいない
- サークルの仲間に入りづらい
- 人間関係が希薄
- 井戸端会議に代わるものがない
- 独居の方はやはり心配ごとが多い
- 高齢化によりひとり暮らしが増えて来た
- 体調をくずした買物に行けない
- 1人暮らしで認知症になったらどうしよう
- 個人主義のとりちがい
- 自分本意の人
- 近所のことに関わりたくない
- なやみをうまく話せない人がいる
- 相談する相手が居ない
- ボランティア希望者少ない
- 地域福祉計画、20~40代の人不参加
- 教育問題、特に退学に関して
- 子育てコンシェルジュがいると
- 「親の断捨離」年配者を敬わない
- 子育てカウンセラーの不足

<協力・連携のアイデア(解決策)>

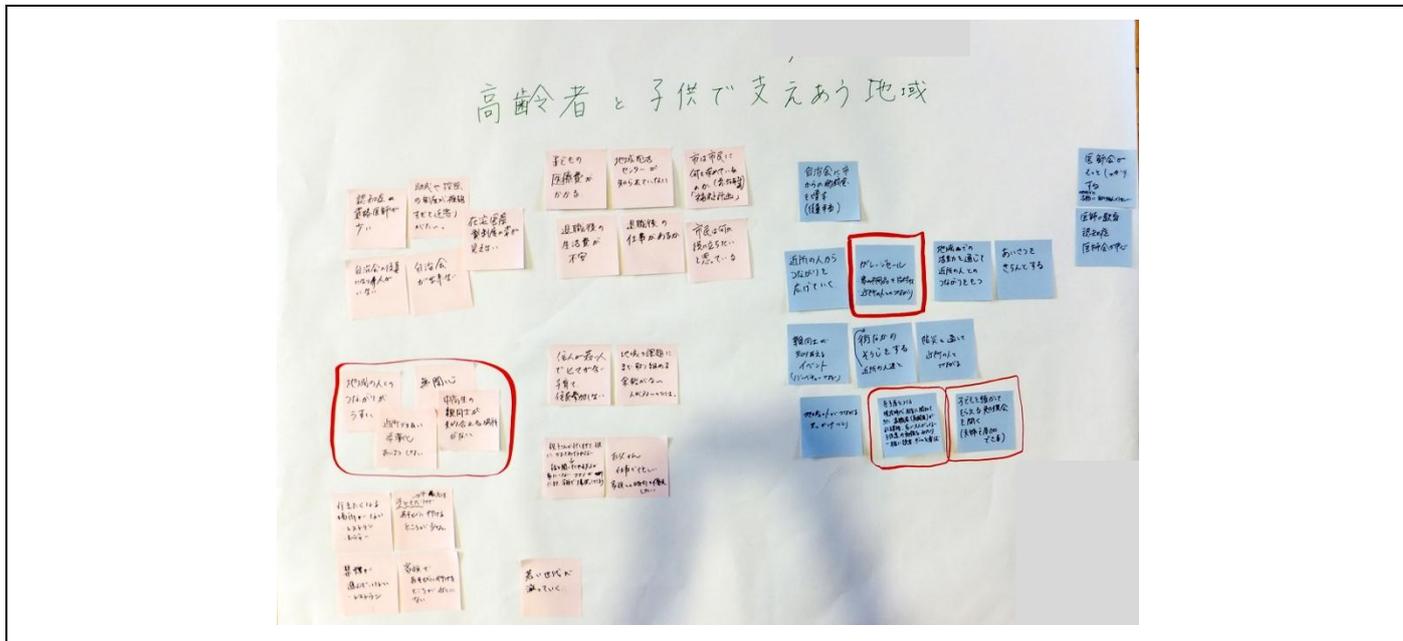
- ※青の付箋
- ◎自治会単位のおしゃべりの場(サロン)の設立
- ◎自治会で見守りをしよう
- ◎自治会と民生委員の連携を図る
- ◎自治会の活性化(市の課題を考え)
- ◎行政がもっと自治会等に顔を出す
- ◎地域の各サークルへの支援
- ◎向こう三軒両隣を取り戻そう
- ◎助け合える友達をつくろう
- ◎サロンは困りごと、相談の場、つなげる場
- ◎助けられ上手になろう(自助)
- ◎たまり場、居場所サロンを作ろう
- ◎元気な高齢者をサロンづくりに参加しよう
- ◎高齢者集まれ!健康サロン
- ◎隣と仲よくしよう
- ◎子育て支援は高齢者がお手伝い
- ◎昔の井戸端会議の場をつくろう
- ◎移動(出張)ワークショップ
- ◎食のイベントをきっかけにする
- ◎スポーツイベントをきっかけにする
- ◎イベント会場で今日のような交換会を行う(マルシェを参考)

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



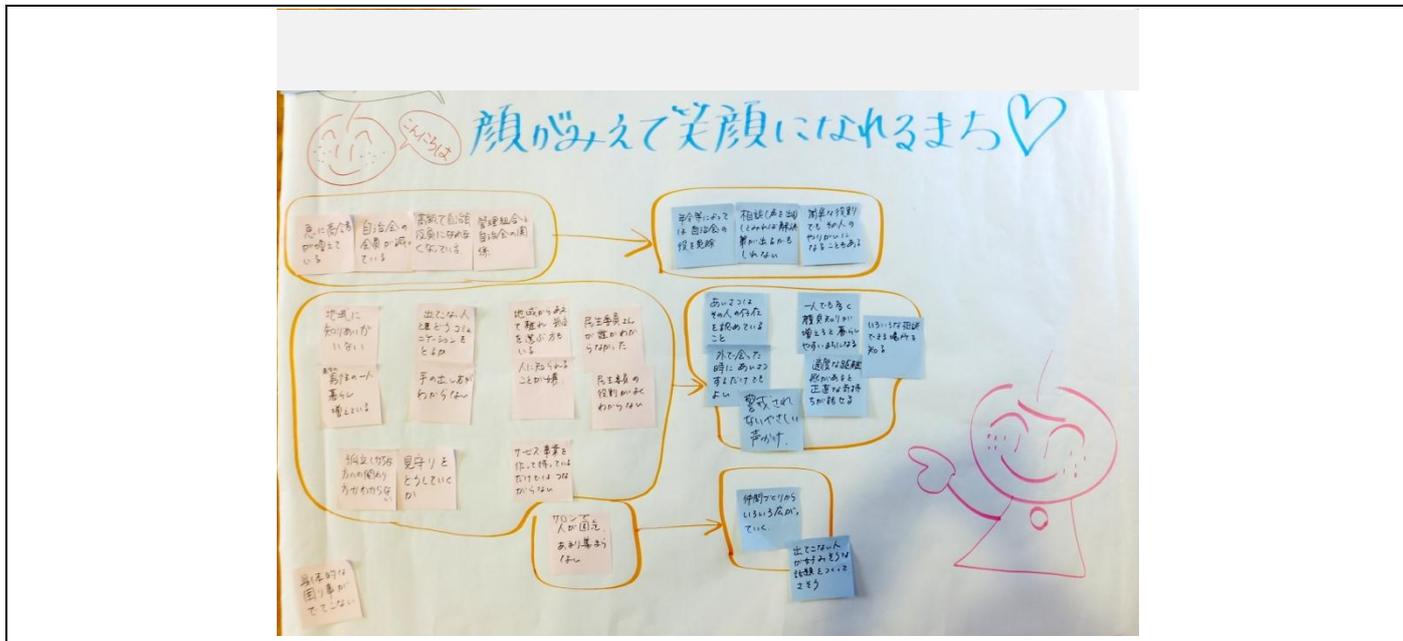
地区の望ましい将来の姿	気がるにあいさつができる笑顔の清水口
<p><地区の課題(困っていることなど)></p> <p>※ピンクの付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民大学、若い世代対象のものが無い ●主体が働く人も楽しくやり甲斐がもてる活動 ●やり甲斐の作り方 ●地域で楽しい時間、交流できる場所創り ●男性が退職後地域にデビューするのが大変! ●まだ元気な内にいかに地域や人と関わるか ●交流の場、互いの存在を知る場所 ●市民大学、ボランティア等の地域活動に繋がらない ●市民大学、地域に貢献することを求められる× ●単に学びたい、楽しみたい ●困っている人の内容、実態がわかっていない ●地区の実体をどう把握していくのか ●心を開いてもらうのが大変! ●世話にならない⇔みにくい部分は知られない ●個人情報扱い ●プライバシー、個人情報を守りたい人との折り合いのつけ方 ●人に世話になる迄のハードルがある、心開けない ●認知症の方も増えている ●認知症の方、伝えても忘れられる、どこまで周知するか ●問題→どこに相談→どこに連携するか ●相続の悩み、相談 ●自助、共助、認識が浅い ●団地、階段がない→買物弱者、空き家増加 ●エレベーターの無い団地 ●老老介護 ●孤立死 ●空き家(市の手助けがないと出来ない) ●独居高齢者がふえている ●自治会に入っていない人はどうするか ●自治会に加入したくない、やめたい人をどうするか ●地域の役割、認識不足 ●自治会役員など任期終了後、又引っ込まれてしまう 	<p><協力・連携のアイデア(解決策)></p> <p>※青の付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎サロンの活用展示や発表の場として活かす ◎人が人を呼んで絆が広がっていく ◎多様なサロン機能をもった ◎いろいろな集いの場をつくる!! ぶやす!! ◎相談会の開催 ◎自然にお互いが見守られるようにする関係を作る ◎楽しんで地域に関われる活動が大切 ◎一芸の人をよんでたのしく ◎サロンの数をぶやす!! 場所 ◎潜在的な能力やキャリアを活かして頂く場を作る ◎梨の実ひろばがよい!! ◎気軽に挨拶 ◎自発的に主体的にボランティア etc ◎人が主体的にかかわることが重要 ◎近所じゃない人のサポート体制 ◎みまもりサービス、電話で確認 ◎地域重要性の周知活動 ◎若い世代を取り込みつないでいく ◎自治会役員免除条件を作っておく ◎自治会長になる!! ◎自治会と防災会を分けるとよい

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿	高齢者と子供で支えあう地域
<p><地区の課題(困っていることなど)></p> <p>※ピンクの付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●認知症資格医師が少ない ●助成や控除の制度が複雑すぎて近寄りづらい ●在宅医療制度の姿が見えない ●子どもの医療費がかかる ●自治会の役員になる人がいない ●自治会が出来ない ●地域包括センターが知られていない ●市は市民に何を求めているのか(前5カ年計画)「福祉計画」 ●退職後の生活費が不安 ●退職後の仕事があるか ●市民は何か役に立ちたいと思っている ●<u>地域の人とのつながりがやすい</u> ●<u>無関心</u> ●<u>近所づきあい希薄化、あいさつしない</u> ●<u>中高生の親同士が知り合える場所</u> ●親御さんが忙しすぎて子供にかまっていられない→話を聞いてくれる大人が家にいないフマンがたまり、学校で爆発してしまう ●お父さん仕事で忙しい、家族との時間を優先したい ●行きたくなる場所がない(レストラン、レジャー) ●子供だけで(中高生)あそびに行けるところが少ない ●禁煙が進んでいないレストラン ●家族で遊びに行けるところが近くにない ●若い世代が減っていく 	<p><協力・連携のアイデア(解決策)></p> <p>※青の付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自治会に市からの助成金を出す(役員手当) ◎近所の人からつながりを広げていく ◎<u>ガレージセール(家の不用品を片付ける、近所の人とのつながり)</u> ◎地域での活動を通じて、近所の人とのつながりを持つ ◎親同士が知り合えるイベント(バーベキューなど) ◎近所の人達と街なかの掃除をする ◎防災を通して近所の人とつながる ◎地域の人がつながるきっかけづくり ◎<u>寺子屋をつくる(現役時代、教育に関わってきた退職者(高齢者)が放課後、家に大人がいない、子供達の勉強を見たり、一緒に読書、ゲームを楽しむ)</u> ◎<u>子供を預かってもらえる勉強会を開く(夫婦で参加できる)</u> ◎医師会がもっとしっかりする、地域での活動に取り組んでほしい ◎医師の教育、認知症、医師会が中心

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿 顔がみえて笑顔になれるまち♡

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋

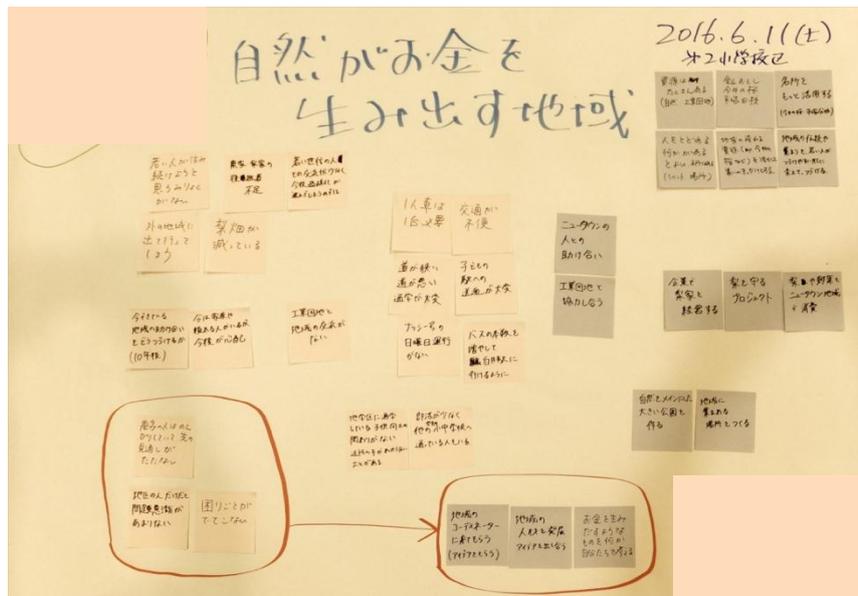
- 急に高齢者が増えている
- 自治会の会員が減っている
- 高齢で自治会役員になれなくなっている
- 管理組合と自治会の関係
- 地域に知り合いがない
- 高齢の男性の一人暮らし増えている
- 出てこない人とどうコミュニケーションをとるか
- 地域からあえて離れ、孤立を選ぶ方もいる
- 人に知られることが嫌
- 民生委員さんが誰かわからなかった
- 民生委員の役割がよくわからない
- 孤立しがちな方への関わり方がわからない
- 見守りをどうしていくか
- サービス事業を作っているだけではつながらない
- サロンで人が固定、あまり集まらない
- 具体的な困り事がでてこない

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋

- ◎年令等によっては自治会の役を免除
- ◎相談(声を出す)してみれば解決策が出るかもしれない
- ◎簡単な役割でもその人のやりがいになることもある
- ◎あいさつはその人の存在を認めていること
- ◎外で会った時にあいさつするだけでもよい
- ◎警戒されないやさしい声かけ
- ◎一人でも多く顔見知りが増えると暮らしやすいまちになる
- ◎適度な距離感があると正直な気持ちが話せる
- ◎いろいろな相談できる場所を知る
- ◎仲間づくりからいろいろ広がっていく
- ◎出てこない人が好みそうな話題をつくってさそう

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿 | 自然がお金を生み出す地域

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋

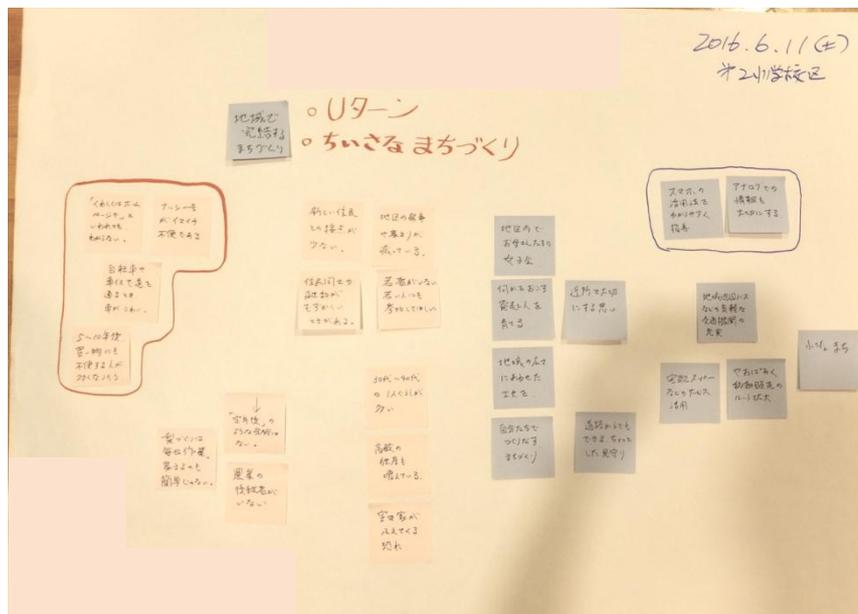
- 若い人が住み続けようと思う魅力がない
- 農家、梨屋の後継者不足
- 若い世代の人との交流がなく、今後過疎化が進んでしまうのでは
- 外の地域に出て行ってしまう
- 梨畑が減っている
- 今できている地域の助け合いをどう続けるか(10年後)
- 今は家族や頼れる人がいるが、今後が心配
- 工業団地と地域の交流がない
- 1人車は1台必要
- 交通が不便
- 道が狭い、道が悪い、通学が大変
- 子どもの駅への送迎が大変
- ナッシー号の日曜運行がない
- バスの本数を増やして白井駅に行けるように
- 地学区に通学している子供同士の関わりがない、近所の子かわからないことがある
- 部活が少なく、他の学区の小中学校へ通っている人もいる
- 農家の人はのんびりしていて、先の見通しが立たない
- 地区の人だけだと問題意識があまりない
- 困りごとがでてこない

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋

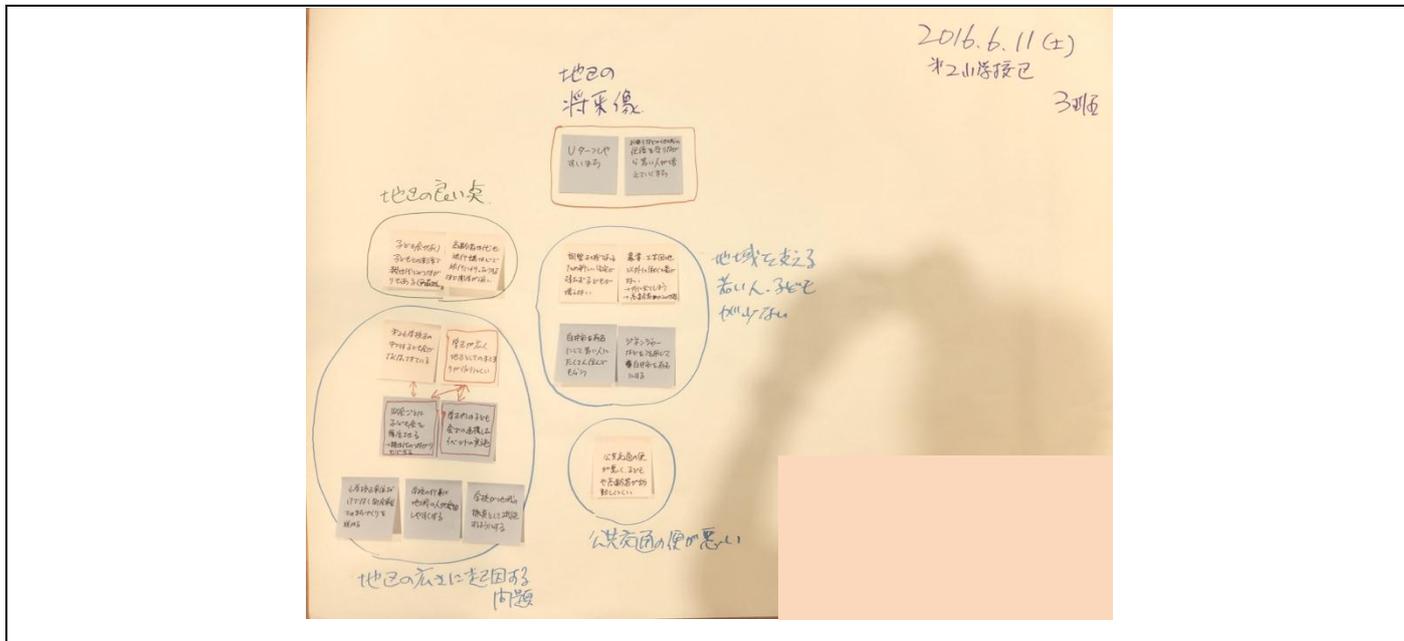
- ◎資源はたくさんある(自然、工業団地)
- ◎金山落とし、今井の桜、平塚分校
- ◎名所をもっと活用する(今井の桜、平塚分校)
- ◎人をとどめる何かがあるとよい、名所はある(イベント、場所)
- ◎地域の誇れる資源(今井の桜など)を活かして、集いのきっかけとする
- ◎地域の伝統や集まりを若い人がつづけやすい形に変えてつづける
- ◎ニュータウンの人との助け合い
- ◎工業団地と協力し合う
- ◎企業で梨家を経営する
- ◎梨を守るプロジェクト
- ◎梨や野菜をニュータウン地域で消費
- ◎自然をメインにした大きい公園を作る
- ◎地域に集まれる場所をつくる
- ◎地域コーディネーターに来てもらう(アイデアをもらう)
- ◎地域の人材を発掘、アイデアを出し合う
- ◎お金を生み出すようなものを何か自分たちで考える

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿	地域で完結するまちづくり (Uターン、ちいさなまちづくり)
<p>地区の課題 (困っていることなど) ></p> <p>※ピンクの付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「くわしくはホームページで」といわれても、わからない ●ナンバー号がイマイチ不便である ●自転車や車イスで道を通るとき、車がこわい ●5~10年後、買い物にも不便する人が多くなりそう ●新しい住民との接点が少ない ●地区の祭事や集まりが減っている ●住民同士の融和がむずかしいときがある ●若者がいない、若い人にも参加してほしい ●30代~40代の一人暮らしが多い ●高齢の独居も増えている ●空家がふえてくる恐れ ●「定年後」のような余裕はない ●梨づくりは毎日作業、集まるのも簡単じゃない ●農業の後継者がいない 	<p><協力・連携のアイデア (解決策) ></p> <p>※青の付箋</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎スマホの活用方をわかりやすく指導 ◎アナログでの情報も大切にする ◎地区内でお母さんたちの女子会 ◎何かをおこす発起人を育てる ◎近所を大切にする思い ◎地域の広さにあわせた工夫を ◎地域巡回バスなどの気軽な交通機関の充実 ◎宅配スーパーなどのサービス活用 ◎やおばあく、移動販売のルート拡大 ◎小さなまち ◎自分たちでつくりだす、まちづくり ◎道路からでもできる、ちょっとした見守り

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿	Uターンしやすいまち、お祭りなどの地域の伝統を守りながら若い人が増えていくまち
<p><地区の課題(困っていることなど)></p> <p>※ピンクの付箋</p> <p>【地区の良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども会があり、子どもとの関係で親世代のつながりもある(平塚地区) ●高齢者世代も旅行講などで旅行に行ったりするほど関係が深い <p>【地域を支える若い人、子どもが少ない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整区域であるため、新しい住宅が建たず子どもが増えない ●農業、工業団地以外に働く場がない→外に出てしまう、高齢者のみの世帯 <p>【地区の広さに起因する問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第二小学校区の中では子供会がなくなってきている ●学区が広く、地区としてのまとまりが作りにくい <p>【公共交通の便が悪い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の便が悪く、子どもや高齢者が移動しにくい 	<p><協力・連携のアイデア(解決策)></p> <p>※青の付箋</p> <p>【地域を支える若い人、子どもが少ない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎白井市を有名にして若い人にたくさん住んでもらう ◎シネンジャーなどを活用して、白井市を有名にする <p>【地区の広さに起因する問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎町会ごとに子供会を復活させる→親世代のつながりもできる ◎学区内の子ども会での連携したイベントの実施 ◎小学校区単位だけでなく、町会単位でのまちづくりを進める ◎学校の行事に地域の人に参加しやすくする ◎学校が地域の拠点として機能するようにする

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア

今のつながりを大切に



地区の望ましい将来の姿

今のつながりを大切に

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋

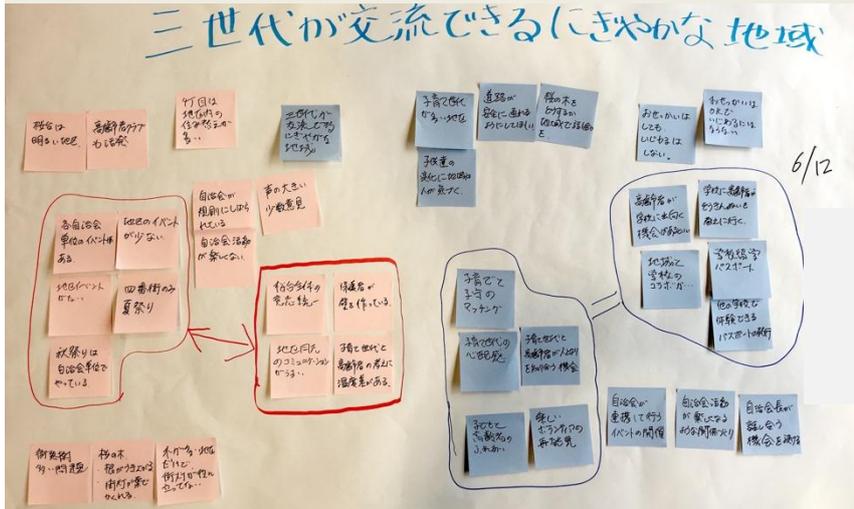
- 病院バスのバス停で立って待っていない
- 一人でいた時の病院対応
- 縦の交通がないので、谷田、清戸は困る
- 地区がとにかく広い(谷田、清戸)
- 昔のまつりごとはなかなかやめられない→負担
- 「世代」「世代」の集まりごとがなくなった
- 地域であったまつりごとがなくなった
- 昔の良き集まりの衰退
- おびしゃ区長持ちお金がかかる
- 子安講がなくなったり(サロンに)しかし、谷田、清戸まだある
- 国民年金だけでは家屋の維持が困難
- 独居(日中)(高齢化)
- 谷田、清戸は独居が少ない(今は)
- 農家世代はあととりもいるので心配していない
- 嫁問題
- 子どもの声がない
- サラリーマン世代は心配している(今後のこと)
- 「子どもは戻ってくる」と農家世代は思っている
- 若い世代は問題視していない感じ
- ピンとこない困ってないから(今)
- 5~10年後の考え方の違い、NTと農村部
- 田舎→安易に考えている
- 田舎→困っていない
- 田舎→介護関係のサービスに対して前は利用しにくかった
- 居場所(サロン)の内容
- おじいちゃんが外にでない(遊びに)

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋

- ◎病院などの前で待つ場所の確保の充実
- ◎バス停での待ち時間の活用(交流スペース)
- ◎用事イベントがあると参加する
- ◎「昔のまつりごと」を形を変えてやってみる
- ◎おびしゃ、子安講、中年講、庚申講など、今までの集まりに替わるものを作る(サロン)
- ◎地域の「シルバー人材」小型版(若い世代~高齢者)
- ◎植木家屋修理できる人で手伝う
- ◎外にでないおじいちゃんに得意なことをお願いする
- ◎嫁さがしイベント
- ◎ミニ開発が一つの発展
- ◎恵まれた地域の継続
- ◎デイサービスの利用を楽しく伝える
- ◎「サロンで楽しく過ごせる」を広げる
- ◎一度楽しいと思うサロンには次も来てくれる

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿

三世代が交流できるにぎやかな地域

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋

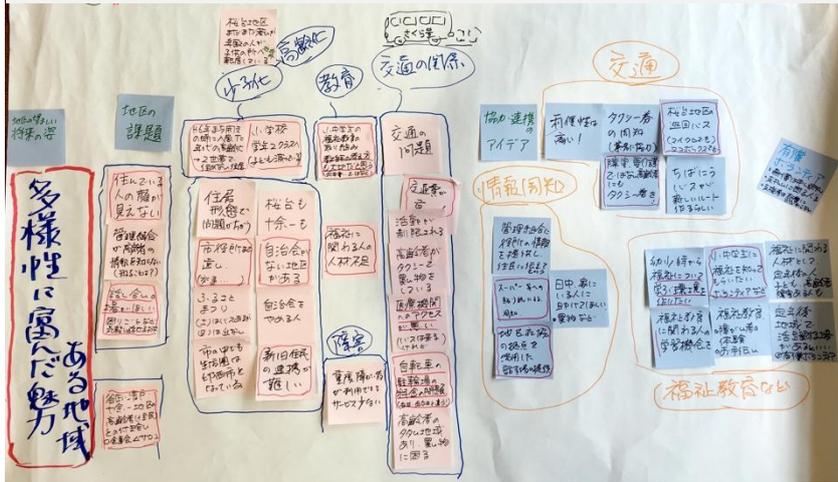
- 桜台は明るい地区
- 高齢者クラブも活発
- 4丁目は地区内の住み替えが多い
- 自治会が規則にしばられている
- 自治会活動が楽しくない
- 声の大きい少数意見
- 各自治会単位のイベントはある
- 地区のイベントが少ない
- 四番街のみ夏祭り
- 秋祭りは自治会単位でやっている
- 桜台全体の意志統一
- 保護者が壁を作っている
- 地区同士のコミュニケーションがうすい
- 子育て世代と高齢者の考えに温度差がある
- 街路樹多い問題
- 桜の木、根が浮き上がる、街灯が葉でかくれる
- 木が多い地区だけど、街灯が役に立ってない

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋

- ◎三世代が交流できるにぎやかな地域
- ◎子育て世代が多い地区
- ◎子供達の変化に地域の人気がつく
- ◎道路が安全に通れるようにしてほしい
- ◎桜の木をどうするか、地域で話し合いを
- ◎おせっかいはしても意地悪はしない
- ◎おせっかいはOKで意地悪にはならない
- ◎子育てと子守のマッチング
- ◎子育て世代の心配感
- ◎子育て世代と高齢者が人となりを知り合う機会
- ◎子どもと高齢者のふれあい
- ◎楽しいボランティアの再発見
- ◎高齢者が学校に出向く機会があるといい
- ◎学校に高齢者が雑巾縫いを教えに行く
- ◎地域と学校のコラボか・・・
- ◎学校留学パスポート
- ◎他の学校で体験できるパスポートの発行
- ◎自治会が連携して行うイベントの開催
- ◎自治会活動が楽しくなるような関係づくり
- ◎自治会長が話し合う機会を設ける

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア



地区の望ましい将来の姿 多様性に富んだ魅力ある地域

<地区の課題(困っていることなど)>

※ピンクの付箋
 【少子化、高齢化】
 ●桜台地区まだまだ若い人が年配の人が子供の所へ(地域外)転居している
 ●H6年まち開きの時に入居した年代の高齢化
 →2世帯で住めない住居
 ●小学校学年2クラスへ(子ども減っている)
 ●住居形態で問題が違う
 ●市役所まで遠い(交通・・・)
 ●ふるさとまつり(土)はバスあるが、(日)は出ない
 ●市の中でも生活圏は印西市となっている
 ●桜台も十余一も
 ●自治会がない地区がある
 ●自治会をやめる人
 ●新旧住民の連携が難しい

【教育】
 ●小・中学生の福祉教育の取り組み、教師の考え方も大切だと思う(内申書・・・ではなく)

【交通の関わり】
 ●交通の問題
 ●交通費が高い!
 ●活動が制限される
 ●高齢者がタクシーで買い物をしている
 ●医療機関へのアクセスが悪い(バスは来るけれど)
 ●自転車の駐輪場の料金問題(白井、西白井と違う!)
 ●高齢者の多い地域あり、買い物に困る

【障害】
 ●重度障害者が利用できるサービスが少ない

【その他】
 ●福祉に関わる人の人材不足
 ●住んでいる人の顔が見えない
 ●管理組合が高齢者の情報を知らない(知ることとは?)
 ●話し合いの場がほしい、困りごとなど気軽に話せるような
 ●谷田、清戸、十余一地区の高齢者(住民)との付き合い、○食事会、△サロン

<協力・連携のアイデア(解決策)>

※青の付箋
 【交通】
 ◎利便性は高い!
 ◎タクシー券の周知(業者に協力)
 ◎障害、要介護ではない高齢者にもタクシー券を!
 ◎桜台地区の巡回バス(マイクロでもワンボックスでも)
 ◎ちばにうバスが新しいルート作るらしい

【情報周知】
 ◎管理組合に役所の情報を提供し、住民に伝えてもらう
 ◎スーパー等への貼り紙による周知
 ◎地区社協の拠点を活用した話す場の提供
 ◎日中家にいる人に助けてほしい、買い物など

【福祉教育など】
 ◎幼少時から福祉について学ぶ環境を作りたい
 ◎小中学生に福祉について知ってもらいたい、ボランティアなど
 ◎福祉きょういくに関わる人の学習機会を
 ◎福祉教育:障害者の体験、お手伝い
 ◎福祉に関わる人材として、定年後の人、子ども、高齢者、障害ある人も
 ◎定年後地域で活躍する場があるといい、有償ボランティア
 ◎有償ボランティア:無償は申し訳ない、支払いに困る人いる、支援者は有償にこだわらない



地区の望ましい将来の姿	ありのままが受け入れられるまち
<p><地区の課題(困っていることなど)> 【共助】※ピンクの付箋 ●顔がわからない世界でのつながりの怖さ ●同じ意見の人でかたまりやすい(インターネット) ●目的がある居場所がない ●地域で話しを聞くことがない ●「愛って」何?人によりイメージが違う ●「かたまり」はあるがその「かたまり」が繋がらない ●インターネット社会、コミュニケーションが希薄 ●成功体験を味あわせる機会がない ●話し相手になってあげる場がない</p>	<p><協力・連携のアイデア(解決策)> 【共助】※ピンクの付箋 ◎自分の社会参加の「たすけAI」 ◎学校で健康教育を充実させる(ボランティア講師) ◎福祉じゃない「愛」で行う ◎地域の中でつながっている実感が薄い ◎オープンな場をつくる/◎サロンで居場所 ◎子供達が気軽に立ち寄れる場所(カフェ) ◎顔と顔とで伝える社会/◎地域人材の確保をする ◎「ちょっと行きたい」そんな場の提供 ◎楽しみながら体験させる/◎サロンで自分の特技を披露する ◎目的を明確にした居場所作り/◎特別視しない居場所作り ◎そこに行けば穏やかになれる場所 ◎仲間がいる場所(サロン、患者会など)</p>
<p>【自助(基盤)】※黄色の付箋 ●市内各所に中高生の居場所がない ●自分のことを知られたくない ●障害があっても高齢でも「ありがとう」と言われた ●悩んでいる相談場がない ●元気な高齢者のやりがいが少ない ●自分の気持ちが落ち着く場が無い(自己実現) ●ちがう意見の人と話し合う場がない(多様性の理解をどう進めるのか?) ●知的障害の不便さを伝えることが難しい ●自分の健康を自分で守るための組織作り ●個々の「福祉」の考え違い ●福祉がイメージが悪い</p>	<p>【自助(基盤)】※黄色の付箋 ◎生まれた時から(小学生時代より)健康は自分で Self Care(自助) ◎運動をする、歩く、たばこは飲まない ◎自立→愛のイメージ ◎気持ちをおだやかにする ◎小学校のうちから他人は他人、自分は自分、自己をしっかり (人と比較しない) ◎人を1人の人としてあつかう ◎ポジティブに考える=幸せ ◎楽しく笑って過ごす ◎寝起きの顔を見て笑う!声をあげて ◎小学校で保健教育、その中でも三大疾患の予防、小学校教育 でスタートする(お金使わず!!) ◎自分のためにする、話をする ◎親がやってみせる(例 ほめる)モデリング学習、子供の目を見て 笑う、ほめる</p>
<p>【公助】※青の付箋 ●特別視しない教育課程がない ●税金を使いお役所がやってあげるイメージ→福祉 ●体験する場の提供が少ない ●居住地校交流が充実していない ●相談機関の提供場がない ●福祉とは?地域福祉ということが理解されていない?!</p>	<p>【公助】※青の付箋 ◎地域福祉計画にサブタイトルをつける ◎サロンの場所(部屋)や料金を補助する ◎居場所=安心していただける気持ちが落ちついている場所 ◎福祉のイメージを変える言葉を作る ◎公的な移動手段が少ない/◎福祉を気軽にする ◎福祉→愛/◎福祉を身近にするように/◎子供の居場所 ◎新しい福祉のイメージを作る ◎高齢者施設と児童施設が隣接している方がよい ◎悩んでいる人居場所作り ◎特別視がない教育の場の提供</p>

※下線は重要な課題、もしくはお薦めのアイデア

